



Hamada Woods

森のリズムで
広葉樹プロダクトを
『共創』する。

Hamada Woods の100年構想

<http://hamadawoods.jp>

森と暮らし

人は暮らしが満たされるとふと「暮らし方」を考える。

綿々と受け継がれてきた人々の暮らし。

今の暮らし方で次の世代に何を残せるのだろうか？

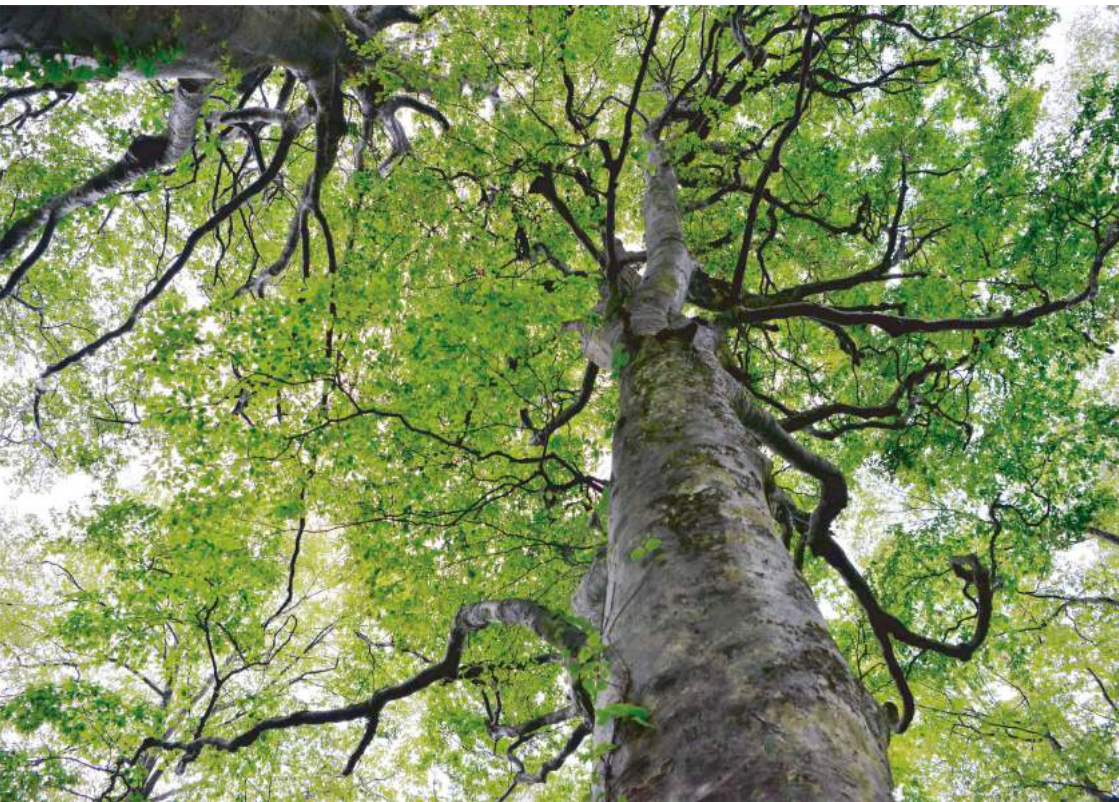
Hamada Woods のふるさと、島根県浜田市には木材化が可能な

森林の70%が広葉樹という全国でも有数の森が広がります。

かつて人々はこの広葉樹の森と上手に付き合い暮らしてきました。

広葉樹にはたくさんの種類があり、樹種による特徴の違いを

巧みに利用し、良質な家具や暮らしの道具をつくる素材としてきました。



「森のリズム」にあわせて

人々は、自然の再生能力を見越して木を残し、切り株から

芽を出す萌芽更新という手法で森林の再生管理をしてきました。

たとえば燃料の確保のために炭焼きを行っていた時代。

ある森から炭の原料となる広葉樹を採ると、次は別の森へ。

そして、炭に適した大きさに育つ7～10年でもとの森に戻る……

いわば自然の周期「森のリズム」にあわせて資源を得てきました。

Hamada Woods ではかつて日本の山で行われてきた「森のリズム」に

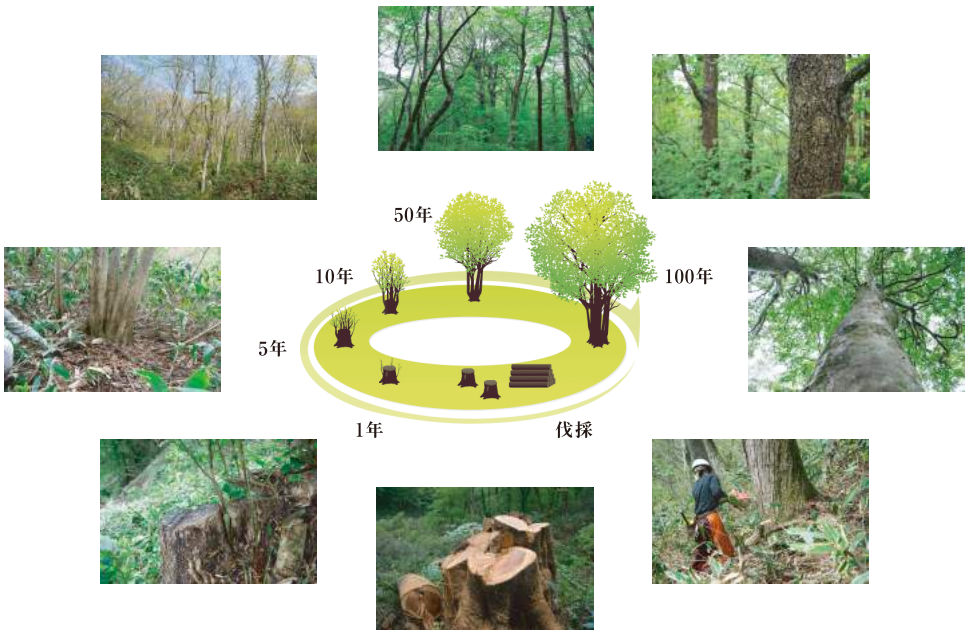
あわせた資源管理の知恵を応用しようと考えました。

つまり家具や暮らしの道具をつくるのに必要な大きさの広葉樹が

自然の力で再生する60～100年の周期となるよう計画的に伐採場所を変え、

萌芽更新をはじめとした森林再生の知恵を取り入れて広葉樹の森から

半永久的に素材を得ようとする試みをはじめました。



三つの仕事

広葉樹の森から木が素材化され、製品となるまでには

『三つの仕事』が関わっています。

森を手入れすることにより木を育て、伐る「林業」、

材料として使いやすいように木の状態を整える「製材」、

そして家具や暮らしの道具をつくる「加工」。

現在多くの場合これら三つの仕事は別々に行われていますが、

Hamada Woods では、森を育てるところから

製品をつくるまで、一体となって行っています。

話はプロジェクトを始めたときに遡ります。

それぞれの職人たちが集まり話し合いをすると「加工」の職人が悩みを打ち明ける。

つくりたい製品があるけれど、それにぴったりの素材が出回っていない、と。

すると「林業」の職人が、森に行けばたくさんあるという。

「製材」の職人も、需要があるなんて知らなかったからチップにして処理していた。

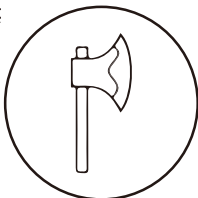
逆のパターンも。

「林業」の職人が家具や暮らしの道具をつくることはできないと思って

処分していたある樹種は、実はおもちゃづくりには最適だと「加工」の職人はいう。

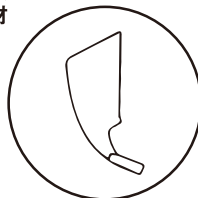
お互いの仕事を知ることで、森の木はもっと有効に使えそうです。

林業



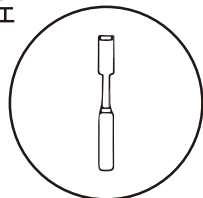
×

製材



×

加工



そして、 みなさま。

広葉樹の森から資源を得て、
その広葉樹を素材化し、
最終的なプロダクトをつくるまで、
自然と職人が一体となって行うということ。

それは、どこで育った木なのか、その木が育った森はどんな森なのかまで
すべてをみなさまに直接届けることができるようになることを意味します。

だから、Hamada Woods ではみなさまに手にしていただいた
プロダクトが育った森をWebですぐにわかるようにして、
その森が自然の力で再生していく様子をお知らせできるようにしました。

ときどき森を覗いて応援していただくみなさまが、
Hamada Woods の最大のパートナーなのかもしれません。
Hamada Woods を末長くよろしく願いいたします。

森のリズムを 体感できる数字

Hamada Woods のプロダクトに入っているカードに記された数字。

これは「いつ」、「どのあたりの森」から得た素材なのか
わかるようにする数字です。三つに区切られた数字のうち、
はじめの数字は木のあった場所の『緯度』、真ん中の数字は『経度』、
最後の数字は『伐採された年』を表しています。

100年後 — 森が自然の力で再生し、最初に伐採した場所に
また次の資源となる広葉樹の森が広がる頃、そこにたくさんの
人の環に支えられた “広葉樹と暮らすサステイナブルなまち” がある……
そんな想いを描いて。

Hamada Woods のWEBサイトにアクセスして、数字を入力してみてください。
どんな森から届いたのか？常に体感できます。 <http://www.hamadawoods.jp/concept/>

34.76-132.01-2016

緯度

経度

年



Hamada Woods

Hamada Woods は公益財団法人 島根県西部山村振興財団、オークヴィレッジ株式会社、浜田市の3者が連携協定を締結し、島根県浜田市域における森林整備と整備の過程で伐採する広葉樹の木工用材としての活用、ならびに浜田市の木材、木製品のブランド化と人材育成を通して地域産業を活性化しようとするプロジェクトです。

財団設立の経緯

林野率が高く耕地面積が少ない県西部地域は、より高齢化・過疎化が進行しており、各自治体では山村維持に対する懸念が大きく、林業振興や森林の適正な管理が地域の重要な課題となっています。地域振興施策を推進する町村と “豊かな森林資源を活用した商品開発を通して役立ちたい” とする故大田肇雄氏（発起人 元ジュンテンドー副社長）の思いが合致し、財団の設立となりました。

名称・事務所所在地

公益財団法人 島根県西部山村振興財団

島根県浜田市弥栄町長安本郷399-1

TEL: 0855-48-2332 FAX: 0855-48-2668

WEB: <http://www.s-sanson.com> E-Mail: seibu@s-sanson.com

事業概要

- ・ 地域材を活用した商品開発のための試作、試販及び流通の情報収集、調査（間伐材の新用途・新商品の開発。流通開発等）
- ・ 地域資源を活用した商品化の研究ならびに試作及び試販
- ・ 山村振興のための研修、表彰、特産品フェアの開催及び情報交換の場の提供
- ・ その他目的を達成するために必要な事業

数字に込められた想い

34.76-132.01-2016

Hamada Woods のプロダクトに付属された

カードの数字は、何を表しているのでしょうか？

詳しくは本パンフレット、WEBサイトから



<http://hamadawoods.jp>